

# 中期計画 2018-2020

～「躍動し愛されるナゴヤ」をめざして～

2018(平成30)年2月



名古屋商工会議所

## [ 要約 ]

# 中期計画 2018-2020

## ～「躍動し愛されるナゴヤ」をめざして～

### 1. これまでの取り組み

名古屋商工会議所は、2009年以來、2020年を長期的なターゲットとして、3年毎に3次の中期計画を策定してきた。その間

①5支部の経営指導員による中小・小規模事業者へのきめ細やかな「伴走型支援」を着実に実施。また、国内最大級の異業種交流展示会に発展した「メッセナゴヤ」や各種商談会の実施等により、中小企業に様々なビジネスマッチング機会を創出してきた。

②次世代産業育成については、航空宇宙分野における「エアロマート名古屋」の開催や部品加工トライアルの実施、医療機器分野での「メディカルメッセ」の開催等により、サプライヤー企業の新規参入支援等につき多くの実績をあげてきた。

③都市力の充実、インフラの整備については、空港・道路・港湾等の利用促進・整備への取り組みを続けるとともに、まちづくりへの提言活動等を実施してきた。

### 2. 当地域の現況

(1)内外経済が回復基調にある中、当地においては、中小・小規模企業で未だ景気回復の実感が十分浸透していない状況があるものの、当地の経済産業全体としては、自動車産業を主力としたモノづくりの強い国際競争力に支えられ、設備投資に前向きな動きが目立つなど、他地域に比べても堅調である。

(2)経済の活況の一方で、長期的な人口減少と少子高齢化の趨勢の中で、各産業での人手不足は大きな問題で、特に非製造業における状況は深刻であり、多様な人材の活躍促進やIT等による生産性向上が急務である。

また、中小企業は全国で過去5年間に40万者消滅し、経営者の年齢のピークは70才に近づきつつあって、円滑な事業承継の環境整備は待ったなしの状況。

(3)2027年のリニア中央新幹線の先行開業を控え、経済の活況もあって、名古屋都心部での商業施設等の建設・開業など新規投資が相次ぎ、都市の大きな変貌が始まっている。

### 3. 10年後に向けた課題

(1)3次にわたる中期計画を踏まえた現況の評価

これまで3次の中期計画における長期的なターゲットとして、『「街の魅力」と「技術の先進性」で、世界の交流の舞台となる「世界交流都市・名古屋」の方向性を、2020年までに確立する』という目標が掲げられてきた。この長期的な目標年次である2020年に向けて、最後の中期計画策定となる現段階において、当地産業は「技術の先進性」を一層磨いて世界をリードしており、それにより当地経済は総じて堅調といえる。名商としても、この10年間における3次の中期計画の期間中、この分野で相応の実績をあげてきた。他方『「街の魅力」をもって世界の交流の舞台となる』という面については、率直に言って、目標達成には未だ距離がある状況と言わなければならないだろう。

(2)今後10年を展望した課題

一方、リニアの先行開業が予定される2027年までの今後10年間を展望すると、当地の産業経済には、現長期目標を策定した10年前の社会経済状況と比べて、次のような新しい大きな変化のうねりと課題が生じている。

#### ①デジタル革命等による大変革への挑戦

AI、IoT、ビッグデータ等による急速なデジタル革命が、各産業のあり方を大きく変えつつある。その中で、当地主力の自動車産業も、今後、EV化の動きに加えて、自動走行やコネクティッドカー等による「百年に一度の大変革」の時代に入っている。このような大変革は、スピードや態様はそれぞれ異なるが、各産業の大企業、中小企業に大きな影響を与えよう。これに対して、当地産業全体として、新たな成長に向けた挑戦を加速していかなければならない。

#### ②ナゴヤにしかない魅力と個性に向けたまちづくりとエリアプロモーション

当地は、リニア開通後には、東京との一体感が高まって、経済拡大のチャンスが十分ある一方、東京圏への埋没・吸収のリスクもある。これに対して、現在の都市再開発へのエネルギーを活かして、ナゴヤが東京から求心力を持つような魅力と個性のある街となるため、官民共有の都市のトータルデザインとそれに基づくエリア開発、これと一体となった商業・サービス業の発展や観光の盛り上げ、MICE、その他エリアプロモーションの推進等が必要と考えられる。

また、名古屋は、これまで世界をリードするモノづくり集積地域の母都市として発展してきたが、上記①のデジタル革命等による産業の大変革の動きの中で、当地産業経済が新たな発展を遂げるためには、イノベーションをリードするような都市機能の強化も求められる。

以上から、10年後を見据えたナゴヤが目指すべき都市のあり方としては、「イノベティブで多様性に富んで躍動し、同時に、面白く、楽しく、内外から多くの人々が何度も訪れたいような愛されるナゴヤ」になっていくことが、望まれる。

次の3年間では、そのための具体的な戦略を策定し、実現へのステップを確実に踏み出す必要がある。

(3)このような変化と課題の認識を踏まえ、次期3カ年の中期計画は、2020年までの第4期計画であるとともに、2027年までの今後10年間へのスタートとなる中期計画と位置づけられる。

### 4. 次期中期計画の三つの柱

以上を踏まえ、次期中期計画は、以下の3つの柱を以て構成する。

# 中期計画 2018～2020 ～「躍動し愛されるナゴヤ」をめざして～

—— は新規事業  
----- は拡充事業

## I. 企業力—中小企業の事業・経営支援

### 1. 創業・成長・承継の一貫した支援

本部及び5支部の経営指導員による巡回指導・窓口相談は、商工会議所の基盤となる活動であり、質・量両面での一層の充実を進める。特に以下のテーマでの活動を強化する。

#### (1) 事業承継支援

今後10年間の「大承継時代」の中で、地域経済を支える中小企業の円滑な承継を事業引継ぎ支援センターと一体となって推進

#### (2) IT化の推進

中小企業の生産性向上のため、IT活用に関する情報提供や具体的事業で支援

#### (3) 創業、経営革新の支援

創業から創業後の経営安定までの総合的な支援、及び小規模企業の経営革新へのサポート強化

#### (4) 事業再生支援 中小企業再生支援協議会の活動の充実

### 2. ビジネスマッチングの促進

#### (1) 様々なビジネスマッチング機会の創出

- ① 全国有数の異業種交流展示会に成長した「メッセナゴヤ」の一層の発展
- ② 各種商談会を、メンバーとニーズに即して、より実効性の高いものへ充実させる。

#### (2) 農商工連携の推進

### 3. 人材の確保・育成、多様な人材の活躍推進

深刻な人手不足の状況に対して、以下の取り組みを進める。

#### (1) 人材の確保・育成等の支援

人材確保・育成への中小会員企業の強いニーズを踏まえ、合同企業説明会等の採用支援や各種講習会等の人材育成支援を、質・量ともに一層充実させる。

#### (2) 多様な人材の活躍推進

女性や外国人など多様な人材の活躍・活用の促進。

#### (3) 次世代産業人材の育成

将来の当地産業を支える人材育成のため、小中学校、高校でのモノづくり教育支援等を拡充する。

## II. 都市力—躍動し愛される名古屋へ

### 1. まちづくりと、商業・サービス業振興、観光・誘客推進

#### (1) 「躍動し愛されるナゴヤ」に向けた取り組み

2027年まで今後10年の間に、ナゴヤにしかない個性と魅力ある街へと発展する道筋をつけるため、本年前半にも取りまとめを予定する「躍動し愛されるナゴヤ研究会」報告書の内容を踏まえ、次のような総合的な取り組みを推進する。

#### ① 名古屋駅・伏見・栄の一体的発展に向けたまちづくり

名古屋の将来発展の中核となる東西軸の魅力あるまちづくりへの取り組みを進める。

#### ② 都心の新たな賑わいへのエリアプロモーション

まちづくりと一体での賑わい創出へのエリアプロモーション活動を展開

#### ③ 観光・誘客への取り組み

県、名古屋市や県内各市町等と連携し、産業観光、その他観光・誘客資源の発掘、発信を進める。

#### (2) 地域と一体となった商業・サービス業の振興

#### (3) 東京オリンピック・パラリンピックの一体的盛り上げの活動

オリパラを機に、当地域が世界に誇る「モノづくり」を内外に改めて発信していくため、諸事業を展開

### 2. インフラ整備

リニア開業効果を域内にあまねく浸透し最大化するインフラ整備

- ① 空港 [中部国際空港の利用促進と二本目滑走路の早期整備 等]
- ② 港湾 [名古屋港の利用促進及び港湾機能強化、クルーズ船誘致促進 等]
- ③ 道路 [名古屋環状2号線、西知多道路等広域幹線道路の整備促進 等]
- ④ その他 [災害に対する強靱化 等]

### 3. 世界交流の拡充と深化

会頭ミッションをはじめ、多様な目的の下に多くの海外ミッションを派遣し、また多くの海外からの来訪客との交流を深め、さらに在名外国公館等との交流を進める。これらを会議所の諸事業に活かすとともに、会員ニーズに添えていく。さらに会員企業の海外ビジネスを支援する。

## III. 未来産業力—次世代産業発展・イノベーションの推進

### 1. 次世代産業の育成

当地主力の自動車産業に次ぐ次世代産業の発展を促すため、サプライヤー中小企業に対するビジネスマッチング機会の提供等の参入支援などの取り組みを益々拡大する。

#### (1) 航空宇宙産業

- ① 新規参入、販路開拓支援の拡充・強化
- ② エアロマート名古屋2019の開催
- ③ MRO(maintenance, repair & overhaul)ビジネス参入支援

#### (2) 医療機器産業

- ① 医工連携によるビジネス展開支援 (メディカル・デバイス産業振興協議会)
- ② 「メディカルメッセ」の開催 (2019年医学会総会と同時開催)

### 2. イノベーションの促進

#### (1) デジタル革命等への対応

デジタル革命など「百年に一度の大変革」は、行方の予測が困難で急速な潮流であり、これに対して、特に中小企業は十分な情報や備えを持たない。また既存産業の枠組みを超えた動きであり、オープンなイノベーションやベンチャー・スタートアップが一層重要性を増す。これら大変革とイノベーションに遅れることなく、むしろ当地がリードできるようになっていくことを目指して、中小企業等への情報提供、中小製造業へのロボット等の活用支援、産学官連携等を通じた社会的ネットワークの形成、ベンチャー・スタートアップの環境整備等の取り組みを進める。

#### (2) 知財戦略の推進

#### (3) 環境対策の推進

## ◆組織基盤の強化 <会員サービスの向上・会員増強>

▽上記諸活動を推進していくため、情報基盤整備、人材育成等による事務局機能の強化を進める      ▽事業活動や会員サービスを積極的にPRして新規入会を促進

# 目次

---

I	これまでの取り組み	1
II	現況と課題について	5
	1. 当地域の現況	5
	2. 10年後に向けた課題	5
	3. 次期中期計画の三つの柱	6
III	「中期計画 2018-2020」の3つの柱	7
IV	「中期計画 2018-2020」の重点テーマ	9
	<u>テーマ 1</u> 企業力-中小企業の事業・経営支援	9
	重点テーマ1 創業・成長・承継の一貫した中小企業支援	9
	重点テーマ2 ビジネスマッチングの促進	10
	重点テーマ3 人材の確保・育成、多様な人材の活躍推進	11
	<u>テーマ 2</u> 都市力-躍動し愛される名古屋へ	14
	重点テーマ1 まちづくりと、商業・サービス業振興、観光・誘客支援	14
	重点テーマ2 インフラ整備	16
	重点テーマ3 世界交流の拡充と深化	17
	<u>テーマ 3</u> 未来産業力-次世代産業発展・イノベーションの推進	19
	重点テーマ1 次世代産業の育成	19
	重点テーマ2 イノベーションの促進	20

# I. これまでの取り組み

## 1. これまでの経緯

### (1) 中期計画 2009-2011 (1st Step) ～「世界交流都市・名古屋」を目指して

2020年までを「世界交流都市・名古屋」の方向性確立のための骨格形成期間として、4テーマ（①産業・技術、②文化創造・街づくり、③交流・観光、④環境・快適）の課題を設定。その上で2009年～2011年の3年間を基礎固めの期間とし、テーマ毎に関連する事業プロジェクト並びに具体的なアクションプランを策定・活動した。

### (2) 中期計画 2012-2014 (2nd Step) ～アジアにおけるモノづくりのハブ都市を目指して

1st Stepの方向性は踏襲しつつ、この間の外部環境等の変化、特に東日本大震災を教訓とした大災害への備えや2027年リニア中央新幹線開業に向けた地域づくりの2つの視点を追加して、3テーマ（①グローバル・ナゴヤーアジアパワーの取り込み、②次世代産業・イノベーションー空洞化防止に向けて、③安全・魅力ー安全で快適な都市の形成）に再構成した。

モノづくりという当地の強みを核に、都市魅力も併せてブラッシュアップさせることにより、成長著しいアジアパワー獲得に向けてヒトやモノが活発に行き交う「アジアにおけるモノづくりのハブ都市を目指して」という副題を掲げた。新規事業に限定せず、本所既存事業や他機関との連携事業も含めた幅広い見地からアクションプランを策定・活動した。

### (3) 中期計画 2015-2017 (3rd Step) ～リニア時代へ飛躍するグローバル都市を目指して

これまでの中期計画において長期的なターゲットとして掲げてきた、『「街の魅力」と「技術の先進性」で、世界の交流の舞台となる「世界交流都市・名古屋」の方向性を、2020年までに確立する』という目標について、当初イメージを具体化し、「2020年名古屋の目指すべき姿」を描出した。これに沿って、3テーマ（①モノづくり力、②都市力、③企業力）に再編した。また、この「3つの力」を磨き上げるべく、新たな副題として「リニア新時代へ飛躍するグローバル都市をめざして」を掲げた。

アクションプランについては、2nd Step同様、既存事業や他機関との連携事業も含めた幅広い見地から策定し、活動した。

#### (4) 3rd Step の総括

- ・「モノづくり力」については世界トップレベルのモノづくり力の拡充・強化をテーマとし、航空機・医療機器分野を中心に活動を深化。航空宇宙分野では、国際ビジネスマッチングイベントである「エアロマート名古屋」の開催や部品加工トライアルを実施。医療機器分野では、中部のモノづくり×医療の新たな発信として開催している「メディカルメッセ」等を通じて、サプライヤー企業の新規参入支援等につき多くの実績をあげ、当地産業は「技術の先進性」を一層磨いて世界をリードしてきている。
- ・「都市力」においては、2027年以降のリニア大交流圏を見据えた都市機能の向上を目指し、インフラ整備促進のため、政府に対し各種要望を行い、港湾、道路等の予算確保など着実に前進した。また、まちづくりについては、「伏見地区まちづくりビジョン」を提言するとともに、民間目線の柔軟な発想やアイデア集約を目的に「躍動し愛されるナゴヤ研究会」を設立、活発な議論を行っている。しかしながら、『「街の魅力」をもって世界の交流の舞台となる』という面については、目標達成には未だ距離がある状況。
- ・「企業力」においては、5支部の経営指導員による中小・小規模事業者へのきめ細やかな「伴走型支援」を着実に実施。また、国内最大級の異業種交流展示会に発展した「メッセナゴヤ」を毎年開催。マッチングだけでなく、フォローアップの体制も強化しながら内容の充実を図り、その他にも「名商挑戦型企业経営塾」等の人材育成事業や「売り込み！商談マーケット」等の販路拡大支援に加え中小企業の海外展開支援など各種の支援活動を行ってきた。
- ・「街の魅力」づくりの面については今後課題が残るものの、全体を通じては他機関との連携を密にしつつ、様々な事業を展開・実施し、相応の実績を上げる事が出来た。  
(これまでの中期計画における本所の主な取り組み実績は次頁ご参照)



これまでの中期計画における本所の主な取り組み実績（1/2）

2017.12 末時点

<モノづくりカ>

	1st Step (2009年度～2011年度)	2nd Step (2012年度～2014年度)	3rd Step (2015年度～2017年度)
航空機産業の振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>2009～2010 航空宇宙技術編シリーズ最先端技術セミナー開催</li> <li>2011/9 &lt;連携&gt;「アジア No.1 航空宇宙産業クラスター形成特区推進協議会」参画</li> <li>2011/12 &lt;連携&gt;「アジア No.1 航空宇宙産業クラスター形成特区」認定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2012/10 2012年日本国際航空宇宙展(JA2012)の開催支援(地元ブースへの会員出展(11社17小間))</li> <li>2013～2014 海外航空機産業ミッション派遣(米国・欧州)</li> <li>2014/9 「Aeromart Nagoya 2014」開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2015～ 航空機産業 Welcome Program の開催</li> <li>2015～2017 海外航空機産業ミッション派遣(欧州・メキシコ・米国)</li> <li>2015/12 Aerospace Matching in Nagoya の開催 (商談101件、バイヤー9社、サプライヤー42社が参加)</li> <li>2016/7～2017/3 航空機エンジン部品加工工トライアルの開催</li> <li>2017/9 「Aeromart Nagoya 2017」開催 (商談3,495件、参加企業300社)</li> </ul>
医療機器産業の振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>2009/10 「メディカル・デバイス研究会」設立</li> <li>2009～2011 セミナー・視察会を実施(延べ11回)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2012/6 「メディカル・デバイス産業振興協議会」を設立(「メディカル・デバイス研究会」を発展的改組)</li> <li>2013/5～ 医療機器産業参入サポート・デスクの開設</li> <li>2013/11 日本臨床外科学会総会へ医工連携ブース出展および特別企画セッションを実施</li> <li>2013/12～中部先端医療開発円環コンソーシアムとの連携開始</li> <li>2015/2 「メディカルメッセ」の開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2016～2017 「メディカルメッセ」の定期的な開催(2016/2、12、2017/12 累計参加企業431社)</li> <li>2016～ 病院見学会・医療現場ニーズ発表会開催「中部先端医療開発円環コンソーシアム」と連携</li> </ul>
環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>2009/12 「名商環境行動計画」策定(2012/3 「名商環境行動計画2013-2015」策定)</li> <li>2010/10 「名商 eco クラブ」発足</li> <li>2010/10 &lt;連携&gt;「生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)」の開催支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2014/7 &lt;連携&gt;「海外環境担当行政官との交流懇談会」開催</li> <li>2014/10 「企業が取り組む環境教育事例集」を作成</li> <li>2014/11 &lt;連携&gt;「ESD ユネスコ世界会議」の開催支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2015/7～「環境分野における女性活躍推進WG活動」の運営</li> <li>2016/2～水素関連設備の視察会、講演会の定期的な開催</li> <li>環境ビジネス交流会の定期的な開催</li> </ul>
最先端技術・モノづくり人材支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>2009～2011 モノづくりシーズ紹介・交流事業(理工系大学等との連携事業)</li> <li>2011/4 知財総合支援窓口新設</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2012～2014 モノづくりシーズ紹介・交流事業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2016～”Heart of Technology 愛知2020「モノ+ガタプロジェクト」～子供達への「匠の技」伝承(出前授業)等の実施</li> <li>2015～ 開放特許マッチング事業の実施</li> <li>2017/2 米国先端モノづくり産業観覧会の実施</li> </ul>

<都市カ>

リニア開通に向けた地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>2010/7 「中川運河再生検討委員会」に参画(2012/10「中川運河再生計画」策定)</li> <li>2010/8 &lt;連携&gt;「堀川まちづくり協議会」に参画(2012/10「堀川まちづくり構想」策定)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2012/10&lt;連携&gt;「栄地区グランドビジョン懇談会」に参画(2013/6「栄地区グランドビジョン」策定)</li> <li>2012/11&lt;連携&gt;「名古屋駅周辺まちづくり構想懇談会」に参画(2014/9「名古屋駅周辺まちづくり構想」策定)</li> <li>2013/4 「リニア中央新幹線開業を見据えた地域の地域づくり」を提言</li> <li>2013/6&lt;連携&gt;「ナゴヤ・グランドビジョン策定の提言」とりまとめ</li> <li>2013/11&lt;連携&gt;「名古屋駅周辺地域のスーパーターミナルシティ化を推進する協議会」発足</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2015～2017 &lt;連携&gt;「中部国際空港二本目滑走路建設促進期成同盟会」に参画</li> <li>2016/7 「伏見地区まちづくりビジョン研究会」の発足</li> <li>2017/3 「伏見地区まちづくりビジョン」の策定・提言</li> </ul>
賑わい創出支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>2009/1 &lt;連携&gt;「名古屋城本丸御殿復元工事」に着手</li> <li>2009/4 「名古屋市中心市街地活性化協議会」発足</li> <li>2010/1～12 &lt;連携&gt;「名古屋開府400年祭」開催</li> <li>2010/2 なごや街なか「こだわり」ナビモバイル版運用開始</li> <li>2010/8～10 &lt;連携&gt;「あいちトリエンナーレ2010」の開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2012～2014 支部による地域イベント参画(覚王山祭り、柳原通商店街、原宿タウン、金山南商店街ほか)</li> <li>2012/7 &lt;連携&gt;「ナゴヤラジオ」を開局(38人計269話をインターネット配信)(名古屋工業大学と共同し、ナゴヤ界隈のモノ・コト・ヒト・トキのアイデンティティ紹介コンセプトに実施)</li> <li>2013/8～10 &lt;連携&gt;「あいちトリエンナーレ2013」の開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2016/8～10 &lt;連携&gt;「あいちトリエンナーレ2016」の開催</li> <li>2016/10”Heart of Technology 愛知2020「モノ+スゴプロジェクト」in 明治村～小型モビリティの試乗体験、デモ走行</li> <li>2017/8 「躍動し愛されるナゴヤ研究会」を設置</li> </ul>
地域の強靱化	<ul style="list-style-type: none"> <li>2009～2011 「企業防災セミナー」開催(延べ7回)</li> <li>2011/10 &lt;連携&gt;「南海トラフ地震対策中部圏戦略会議」参画(2012/11 「中部圏地震防災基本戦略」策定)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2012/7～8 &lt;連携&gt;「防災・減災カレッジ」開催(以後、毎年同時期に実施)</li> <li>2013/3 「名商安否確認システム」実証実験開始</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2015～ &lt;連携&gt;「防災・減災カレッジ」開催</li> <li>2016/2 「名商安否確認アプリケーション」提供開始</li> </ul>

これまでの中期計画における本所の主な取り組み実績（2/2）

	1st Step (2009年度～2011年度)	2nd Step (2012年度～2014年度)	3rd Step (2015年度～2017年度)
観光振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>2009～2011 「産業観光フォーラム」開催(計3回)</li> <li>2009～2011 &lt;連携&gt;「中部国際空港利用促進協議会(本所等が事務局)」によるインバウンド促進 招聘国:中国、香港、韓国、タイ、シンガポール、インドネシア、欧州</li> <li>2010～2011 「ものづくり文化再発見!ウォーキング」開催(瀬戸・堀川沿い、西尾・清須)</li> <li>2011/11,12 「アジア観光客おもてなし講座」を開講(2013/2,3 第2弾開催)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2012～2014 「産業観光フォーラム」開催(計3回)</li> <li>2012～2014 &lt;連携&gt;「中部国際空港利用促進協議会(本所等が事務局)」によるインバウンド促進 招聘国:中国、香港、韓国、タイ、インドネシア、台湾、マレーシア、ベトナム</li> <li>2012～2014 「ものづくり文化再発見!ウォーキング」開催(豊山・蟹江、千種・名港、八事・岡崎)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2015～2017 「産業観光フォーラム」開催(計3回)</li> <li>2015～2017&lt;連携&gt;「中部国際空港利用促進協議会(本所等が事務局)」によるインバウンド促進</li> <li>2015～2017 「ものづくり文化再発見!ウォーキング」開催(名古屋西部・高浜・豊橋・常滑・有松・鳴海)</li> <li>2016～”Heart of Technology 愛知2020「モノ+シリプロジェクト」(産業観光支援活動) 産業観光を核としたビジネス客誘致促進プロジェクトの実施</li> <li>2016「匠土産アイデアコンテスト」の実施</li> </ul>
<b>&lt;企業力&gt;</b>			
中小企業向け経営支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>2009～2011 「経営革新塾」(「那古野塾 NEXT」へ改称)の開講(延べ5コース、189名参加)</li> <li>2011/12 「愛知県事業引継ぎセンター」を開設</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2012～2013 「那古野塾 NEXT」の開講(延べ2コース、64名参加)</li> <li>2013 「愛知県経営改善支援センター」開設(3月)、「経営革新等支援機関」の認定取得(4月)</li> <li>2013/4 「消費税転嫁対策窓口相談等事業」開始</li> <li>2014/7 「名商挑戦型企業経営塾(食品編)」を開講</li> <li>2015/3 経済産業省宛て「経営発達支援計画」申請</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2015/11 「経営革新等支援計画」認定</li> <li>2015～ 補助金申請プロジェクト(延べ申請支援件数 1,981件)</li> <li>2015～2017 「名商挑戦型企業経営塾」の開催(延べ参加者 42名)</li> </ul>
海外展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>2011/9 第1回中小企業投資環境調査ミッション派遣(ベトナム)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2013/11 「海外展開アドバイザー紹介サービス」開始</li> <li>2012～2014 中小企業投資環境調査ミッション(インドネシア、タイ、ミャンマー・カンボジア、フィリピン、インドネシア、メキシコ)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2015/8 ミラノ万博で開催された「あいち・なごやフェア in ミラノ」への参加</li> <li>2015～2017 中小企業投資環境調査ミッション(ベトナム・ラオス、ミャンマー等)</li> <li>2015～2017 「海外展開アドバイザー紹介サービス」提供(延べ27件)</li> </ul>
創業支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>2009～2011 「創業塾」開催(延べ7コース、303名参加)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2012 「創業塾」開催(1コース、41名参加)</li> <li>2013～ 「名商創業ステーション」開設(創業支援体制を本所・支部単独から一体体制に再構築。併せて対象を経営が安定する創業後5年程度まで拡大。[2013～2014実績]相談1,694件、創業185件)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2015/11～ CNB ベンチャー大賞を復活し定期開催化</li> <li>2015～2017 「名商創業ステーション」の強化(延べ相談件数・6,034件、創業件数 336件)</li> </ul>
異業種交流促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>2009～2011 「メッセナゴヤ」の開催(累計:1,713社参加)(メッセナゴヤ以外の主要商談会・交流会)</li> <li>「アライアンス・パートナー発掘市」(延べ9回、6,819件商談)、「名商ビジネス交流会」(延べ9回、471企業参加)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2012～2014 メッセナゴヤ」の開催(累計:3,458社参加)(メッセナゴヤ以外の主要商談会・交流会)</li> <li>「アライアンス・パートナー発掘市」(延べ9回、5,378件商談)、「名商ビジネス交流会」(延べ8回、406企業参加)</li> <li>2013/9 「名商バイヤーズ商談会」開催(2015/2 「売り込み!商談マーケット」(規模拡大し改称)開催)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2015～2017 「メッセナゴヤ」の開催(累計:4,187社参加)</li> <li>【メッセナゴヤ以外の主要商談会・交流会】</li> <li>「アライアンス・パートナー発掘市」(延べ8回、6,442件商談)</li> <li>「名商ビジネス交流会」(延べ8回、374企業参加)</li> <li>2015～「売り込み!商談マーケット」(延べ参加企業 495社、商談件数 1,764件)</li> <li>2015～2016「関東・関西バイヤーとの個別相談会」(延べ商談件数 212件)</li> <li>2017/5～ 「月例!バイヤーズ相談会」(延べ9回、商談件数 142件)</li> <li>2015～ 「異業種交流セミナー」の開催</li> <li>2015/11 スペイン国際産業見本市視察会実施(マドリッド・バルセロナ)</li> </ul>
人材育成・採用支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>2009～2011 人材確保・育成事業の実施(「合同企業説明会」は本所単独開催のほか一部連携実施) 「合同企業説明会」(延べ443社 6,319学生参加)、「人材育成関連講習会」(延べ5,888名受講)「名商冠講座(県内の学生向けキャリア教育)」(延べ501名受講)</li> <li>2011/1 「The Next Nagoya 大交流会」(若手ビジネスマンの交流会)開催(2012年第2弾)</li> <li>2011/11 理系大学9校と会員企業との情報交換会実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2012～2014 「合同企業説明会」(延べ480社 2,354学生参加)</li> <li>「人材育成関連講習会」(延べ4,377名受講)、「名商冠講座(県内の学生向けキャリア教育)」(延べ446名受講)</li> <li>2012/4 「名商就活ナビ」を開設</li> <li>2014/2 &lt;連携&gt;「あいち女性の活躍促進会議」に参画</li> <li>2014/10 「女性の活躍促進セミナー」開催</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>2015～2017 「合同企業説明会」(延べ499社 1,199学生参加)</li> <li>「人材育成関連講習会」(延べ5,374名受講)、「名商冠講座(県内の学生向けキャリア教育)」(延べ408名受講)</li> <li>2015/11 名古屋学芸大学と産学連携に関する協定締結</li> <li>2015/12 「早期離職者防止セミナー」開催</li> <li>2016/12,2017/2 「環境×女性×仕事 持続可能な未来に向けて、イキイキと活躍する女性」の発行、シンポジウム開催</li> </ul>



## Ⅱ. 現況と課題について

### 1. 当地域の現況

- (1) 内外経済が回復基調にある中、当地においては、中小・小規模企業では未だ景気回復の実感が十分浸透していない状況にあるものの、当地の経済産業全体としては、自動車産業を主力としたモノづくりの強い国際競争力に支えられ、設備投資に前向きな動きが目立つなど、他地域に比べても堅調である。
- (2) 経済活況の一方で、長期的な人口減少と少子高齢化の趨勢の中で、各産業での人手不足は大きな問題で、特に非製造業における状況は深刻であり、多様な人材の活躍促進やIT等による生産性向上が急務である。
- また、中小企業は全国で過去5年間に40万者消滅し、経営者の年齢のピークは70才に近づきつつあって、円滑な事業承継の環境整備は待ったなしの状況にある。
- (3) 2027年のリニア中央新幹線の先行開業を控え、経済の活況もあって、名古屋都心部での商業施設等の建設・開業など新規投資が相次ぎ、都市の大きな変貌が始まっている。

### 2. 10年後に向けた課題

- (1) 3次にわたる中期計画を踏まえた現況の評価

これまで3次の中期計画における長期的なターゲットとして、『「街の魅力」と「技術の先進性」で世界の交流の舞台となる「世界交流都市・名古屋」の方向性を、2020年までに確立する』という目標が掲げられてきた。

この長期的な目標年次である2020年に向けて、最後の中期計画策定となる現段階において、当地産業は「技術の先進性」を一層磨いて世界をリードしており、それにより当地経済は総じて堅調といえる。名商としても、この10年間における3次の中期計画の期間中、この分野で相応の実績をあげてきた。他方『「街の魅力」をもって世界の交流の舞台となる』という面については、率直に言って、まだ目標達成には未だ距離がある状況といわなければならないだろう。

- (2) 今後10年を展望した課題

一方、リニアの先行開業も予定される2027年までの今後10年を展望すると、当地の産業経済には、現長期目標を策定した10年前の社会経済状況と比べて、次のような大きな変化のうねりと課題が生じている。

#### ① デジタル革命等による大変革への挑戦

AI、IoT、ビッグデータ等による急速なデジタル革命が、各産業のあり方を大きく変えつつある。その中で、当地主力の自動車産業も、今後、EV化の動きに加えて、自動走

行やコネクティッドカー等による「百年に一度の大変革」の時代に入っている。このような大変革は、スピードや態様はそれぞれ異なるが、各産業の大企業、中小企業に大きな影響を与えよう。これに対して、当地産業全体として、新たな成長に向けた挑戦を加速していかなければならない。

#### ②ナゴヤにしかない魅力と個性に向けたまちづくりとエリアプロモーション

当地は、リニア開通後には、東京との一体感が高まって、経済拡大のチャンスが十分にある一方、東京圏への埋没・吸収のリスクもある。これに対して、現在の都市再開発へのエネルギーを活かして、ナゴヤが東京から求心力を持つような魅力と個性ある街となるため、官民共有の都市のトータルデザインとそれに基づくエリア開発、これと一体となった商業・サービス業の発展や観光の盛り上げ、MICE、その他エリアプロモーションの推進等が必要と考えられる。

また、名古屋は、これまで世界をリードするモノづくり集積地域の母都市として発展してきたが、上記①のデジタル革命等による産業の大変革の動きの中で、当地産業経済が新たな発展を遂げるためには、イノベーションをリードするような都市機能の強化も求められる。

以上から、10年後を見据えたナゴヤが目指すべき都市のあり方としては、「イノベティブで多様性に富んで躍動し、同時に、面白く、楽しく、内外から多くの人々が何度も訪れたいくなるような愛されるナゴヤ」になっていくことが、望まれる。

次の3年間では、そのための具体的な戦略を策定し、実現へのステップを確実に踏み出す必要がある。

- (3) このような変化と課題の認識を踏まえ、次期3ヵ年の中期計画は、2020年までの第4期計画であるとともに、2027年までの今後10年間へのスタートとなる中期計画と位置づけられる。

### 3. 次期中期計画の三つの柱

こうした現況・課題を踏まえ、名古屋商工会議所としては今中期計画の活動方針を「企業力～中小企業の事業・経営支援」、「都市力～躍動し愛される名古屋へ」、「未来産業力～次世代産業発展・イノベーションの推進」の3つを柱に据え、副題を”「躍動し愛されるナゴヤ」をめざして”と掲げることとした。

### Ⅲ. 「中期計画 2018-2020」の 3 つの柱

中期計画 2018-2020 では、2020 年までの第 4 期計画であるとともに、リニアの先行開業も予定される 2027 年までの今後 10 年を展望した第 1 期中期計画という位置付けとし、第Ⅱ章で述べた課題を踏まえ、下記の 3 つの柱を以て構成する。

#### I : 企業力—中小企業の事業・経営支援

##### 1. 創業・成長承継の一貫した支援

本部及び 5 支部 70 名の経営指導員による巡回指導や窓口相談は商工会議所の活動の基盤であり、質・量両面での一層の充実を進める。特に、①事業承継支援、②IT 化の推進、③創業、経営革新の支援、④事業再生支援について活動を強化する。

##### 2. ビジネスマッチングの促進

全国有数の異業種交流展示会に発展した「メッセナゴヤ」の一層の拡充や各種相談会を会員ニーズに即して拡充するなど、様々なビジネスマッチング機会の創出を行う。また、農商工連携の推進に向けた取り組みも行っていく。

##### 3. 人材の確保・育成、多様な人材の活躍推進

深刻な人手不足の状況に対して、人材確保・育成への中小会員企業の強いニーズを踏まえ、合同企業説明会等の採用支援や各種講習会等の人材育成支援を、質・量ともに一層充実させる。また女性や外国人など多様な人材の活躍・活用の促進に努めるほか、将来の当地産業を支える人材育成のため、小中学校・高校でのモノづくり教育支援等を拡充する。

#### Ⅱ : 都市力—躍動し愛される名古屋へ

##### 1. まちづくりと、商業・サービス業振興、観光誘客推進

2027 年まで今後 10 年の間に、ナゴヤにしかない個性と魅力ある街へと発展する道筋をつけるため、本年前半にも取りまとめを予定する「躍動し愛されるナゴヤ研究会」報告書の内容を踏まえ、総合的な取り組みを推進する。また、5 支部の地域連携事業の取り組みなど、地域と一体となった商業・サービス業の振興や東京オリンピック・パラリンピックの一体的盛り上げの活動を行っていく。

##### 2. インフラ整備

当地はモノづくりの世界的集積地であり、産業を支えるインフラ整備は必要

不可欠である。リニア中央新幹線の効果を最大化していくため、中部国際空港の二本目滑走路の早期整備、名古屋港整備の着実な推進、名古屋環状二号線や西知多道路等広域幹線道路の整備促進に積極的に取り組んでいく。

### **3. 世界交流の拡充と深化**

会頭ミッションをはじめ、多様な目的の下に多くの海外ミッションを派遣するとともに、多くの海外からの来訪客との交流を深め、さらに国内の在名外国公館等との交流を進めて、会議所の諸事業に活かすとともに、会員ニーズに応じていく。さらに企業の海外ビジネスを支援する。

## **Ⅲ：未来産業力—次世代産業発展・イノベーションの促進**

### **1. 次世代産業の育成**

当地主力の自動車産業に次ぐ、次世代産業の発展を促すため、サプライヤー中小企業に対するビジネスマッチング機会の提供等の参入支援などの取り組みを益々拡大する。当地域が世界的な航空宇宙産業クラスターへと発展するために、エアロマート名古屋の開催やMROビジネスへの参入支援などを通じて、企業の事業展開・参入を後押ししていく。また、医療機器産業については、メディカルメッセの開催やメディカル・デバイス産業振興協議会での活動を通じた医工連携を進める。

### **2. イノベーションの促進**

デジタル革命など「百年に一度の大変革」は、行方の予測が困難で急速な潮流であり、これに対して、特に中小企業は十分な情報や備えを持たない。また既存産業の枠組みを超えた動きであり、オープンなイノベーションやベンチャー・スタートアップが一層重要性を増す。これら大変革とイノベーションに遅れることなく、むしろ当地がリードできるようになっていくことを目指して、中小企業等への情報提供、中小製造業へのロボット等の活用支援、産学官連携等を通じた社会的ネットワークの形成、ベンチャー・スタートアップの環境整備等の取り組みを進める。



## IV 「中期計画 2018-2020」の重点テーマ

### I 企業力—中小企業の事業・経営支援

#### 1. 創業・成長・承継の一貫した支援

【主要テーマ】

- ✓ 事業承継支援
- ✓ IT化の推進
- ✓ 創業、経営革新の支援
- ✓ 事業再生支援

事業・テーマ	スケジュール
主な事業メニュー	
3年後の到達目標	
<p>(1) 事業承継支援</p> <p>改正事業承継税制の活用促進、事業引継ぎ支援センターの活動強化、承継計画の作成支援</p> <p>①早期・計画的な事業承継の準備を促すための、高齢者の経営者向けの気付きセミナー開催</p> <p>②後継者向け啓発事業として、次期経営者向けセミナー開催</p> <p>・後継者不在による廃業を減らすため、中小企業等の円滑な事業承継を支援していく。</p> <p>・愛知県事業引継ぎ支援センターへの取次件数 30件/年</p>	<p>2018年度 ・事業承継支援セミナー開催 (毎年に規模を拡大しつつ実施)</p> <p>2019年度 同上</p> <p>2020年度 ・後継者啓発事業「後継塾」実施</p>
<p>(2) IT化の推進</p> <p>①経営指導員のIT化支援能力向上とITツールや補助金等の情報提供</p> <p>②IT関連企業との連携による中小企業のクラウド会計ソフト導入支援</p> <p>③データシステム・HP作成サービスを活用したIT化支援</p> <p>④おとりよせネット販売支援</p> <p>・専門知識のある経営指導員の各支部への配置</p> <p>・専門指導におけるIT化支援の浸透をはじめ、IT化経営指導が管内小規模事業者に対して、従来の融資相談や記帳指導などと同様に認知されるよう、普及定着を図る。</p> <p>・窓口相談における情報化相談件数 100件/年</p>	<p>2018年度 ・IT関連企業との連携によるクラウド会計ソフト等導入支援</p> <p>・指導員へのIT関連研修</p> <p>・おとりよせネット販売支援開始</p> <p>2019年度 ・HP作成サービスを利用した支援</p> <p>2020年度 ・新データ活用システムを活用した巡回によるIT化支援</p>

(3) 創業、経営革新の支援	2018年度	・創業塾・創業支援関連セミナー等の開催 ・専門家個別指導の実施
①創業支援関連の各種セミナー、名商創業塾の開催 ②専門家窓口相談、専門家派遣	2019年度	同上
③マル経融資、補助金等の活用、事業計画策定支援 ・相談指導先 創業者数 126名/年 ・マル経融資推薦件数 250件/年 ・経営力向上計画 50件、経営革新計画 30件	2020年度	同上
(4) 事業再生支援	2018年度	・再生支援協議会の周知活動 ・事業引継ぎ支援センターとの連携強化
・中小企業再生支援協議会の活動充実	2019年度	同上
・今後も、金融機関等に再生支援の必要性の理解を求め、連携し再生案件の掘り起こしを行う。 ・再生計画策定支援件数 25社/年	2020年度	同上

## 2. ビジネスマッチングの促進

### 【主要事業】

- ✓ 様々なビジネスマッチング機会の創出
- ✓ 農商工連携の推進

事業・テーマ	スケジュール	
主な事業メニュー		
3年後の到達目標		
(1) 様々なビジネスマッチング機会の創出		
① 「メッセナゴヤ」の一層の拡充 ・世界に通用する国際総合展示会「メッセナゴヤ」の確立 ・メッセナゴヤならではの業種・業態を超えた異業種交流という側面と、専門展ならではの明確なコンセプト性をミックスしたような展示会を目指す。	2018年度	・既存事業の評価、整理、統合並びに改善 ・AI的手法導入によるビジネスマッチング円滑化 ・新たなビジネスチャンス拡大に向けた新規事業の検討・導入
	2019年度	同上
	2020年度	同上
② 交流会・ビジネスマッチング支援 ア.各種交流会を通じた会員間の交流の促進 「支店長交流懇談会」、「異業種交流セミナー」 「名商ビジネス交流会」の開催 など イ. 各種商談会の実施	2018年度	・各種交流会・商談会の実施 ・商談会における他商工会議所との共催可能性調査
	2019年度	・各種交流会・商談会の実施 ・調査結果を踏まえた商談会の実施

<ul style="list-style-type: none"> <li>・「売り込み！商談マーケット」(年1回)</li> <li>・「月例バイヤーズ商談会」(毎月)</li> <li>・「アライアンス・パートナー発掘市」(年3回)</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種交流会・商談会を開催することにより、会員企業の販路拡大・人的ネットワークの構築に寄与していく。</li> <li>・「売り込み！商談マーケット」総商談件数 2,000件/年</li> <li>・「月例！バイヤーズ商談会」商談件数 250件/年</li> <li>・「アライアンス・パートナー発掘市」参加事業所1,700社、商談数2,700件/年</li> </ul>	2020年度 同上
<b>(2) 農商工連携の推進</b>	2018年度 ・諸課題の洗い出し、人的ネットワークの構築
<ul style="list-style-type: none"> <li>・本県は全国でも有数の農業県であるものの、本所は事業コンテンツを保有しておらず、本所が取り組む農業との連携事業イメージを調査するとともに、事業性を検証する。</li> </ul>	2019年度 検討結果を踏まえた施策の推進
	2020年度 同上

### 3. 人材の確保・育成、多様な人材の活躍促進

【主要テーマ】

- ✓ 人材の確保・育成等の支援
- ✓ 多様な人材の活躍推進
- ✓ 次世代産業人材の育成

事業・テーマ	スケジュール
主な事業メニュー	
3年後の到達目標	
<b>(1) 人材の確保・育成等の支援</b>	
<b>① 新卒・中途採用支援</b>	2018年度 ・県内商工会議所と共催で、合同企業説明会を実施 ・規模を拡大した説明会の開催
<ul style="list-style-type: none"> <li>ア. 就職ポータルサイト「名商就活ナビ」の運営</li> <li>イ. 新卒大学生を対象とした合同企業説明会実施</li> <li>ウ. 大学と共催で、中小企業経営者と大学生との交流会や中小企業に関するイベント開催</li> <li>エ. 企業向採用対策セミナー実施</li> </ul>	2019年度 ・名商就活ナビのリニューアル ・合同企業説明会の開催規模拡大
<ul style="list-style-type: none"> <li>・就活ナビと合同企業説明会のプレゼンスを今以上に高め、「中小企業が名古屋で新卒向けの採用活動をする際に利用するサービス」としての地位を築く</li> </ul>	2020年度 同上

<ul style="list-style-type: none"> <li>・名商就活ナビ 掲載企業数 160 社 学生登録数 500 名/年</li> <li>・合同企業説明会 出展企業数延べ 350 社/年 学生来場者数延べ 500 名/年</li> <li>・中小企業経営者と大学生との交流会 参加企業 50 社/年 学生来場者数 500 名/年</li> </ul>	
<p>② 企業ニーズに即した人材育成支援</p> <p>ア. 企業の人材育成に貢献できる講座の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新入社員研修</li> <li>・総務・経理担当者等を対象とした研修</li> <li>・時流に沿った内容をテーマとした研修</li> </ul> <p>イ. 検定試験の着実な実施と、受験者数の拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業ニーズに即した人材育成支援を行っていく</li> </ul> <p>開催講座数 50 講座/年 受講者数 2,000 人/年 検定試験受験者数 33,000 人/年</p>	<p>2018 年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講座メニューの充実</li> <li>・検定学習関連のセミナー開催</li> <li>・新規ネット試験の PR 推進</li> </ul> <p>2019 年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・採用担当者セミナー等を開催</li> <li>・IT 関連セミナーの開催</li> <li>・ネット試験受験対策セミナー</li> </ul> <p>2020 年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・検定事業・人材確保事業と連携したセミナーの強化</li> <li>・新検定に対応した対策セミナーの開催</li> </ul>
<p>(2) 多様な人材の活躍推進</p>	
<p>①女性の活躍</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・名商 CareerWomen'sPlatform (女性を対象とした異業種交流事業 以下 CWP) の活動を中心に「女性活躍」「働き方改革」をテーマとしたセミナーの開催、環境分野での女性活躍促進活動を行っていく。</li> <li>・セミナー聴講者あるいは聴講者(企業)の女性社員が他の CWP 事業に参加することで事業全体の盛り上げが図られるようにする。</li> </ul> <p>セミナー聴講者 100 名/年</p>	<p>2018 年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・セミナーの開催</li> <li>・視察会等のイベントの実施</li> </ul> <p>2019 年度 同上</p> <p>2020 年度 同上</p>
<p>②外国人の活用</p> <p>ア. 留学生向け産業視察会の実施</p> <p>イ. 外国人材活用に向けた各種セミナーの開催</p> <p>ウ. 関係機関と連携した合同企業説明会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・雇用の選択肢の一つとして「外国人材」の活用が企業に広く認知されるように活動をしていく。</li> </ul> <p>外国人雇用啓発セミナー受講者 100 名/年 採用活動と雇用管理セミナー 100 名/年</p>	<p>2018 年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業の課題・ニーズ調査、ネットワークの構築</li> <li>・採用・活用セミナー開催による啓発活動</li> <li>・留学生向け産業視察会</li> </ul> <p>2019 年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人材管理に関するセミナーの実施</li> <li>・合同企業説明会の共同開催</li> <li>・留学生向け産業視察会</li> </ul> <p>2020 年度 同上</p>



<p>合同企業説明会 50 社/年</p>	
<p>(3) 次世代産業人材の育成</p>	<p>2018 年度</p>
<p>ア. 「モノ＋ガタリ」プロジェクト  「小中学校、高校への技能五輪メダリスト等を派遣する  出前授業」及び「企業訪問型の職業体験」の実施  イ. 少年少女発明クラブ  小中学生が創作活動を通じて発明・工夫の楽しさを体験する場を提供する。  ・交流会等を通じた発明クラブ支援、あいち少年少女創意  くふう展の開催</p>	<p>・「出前授業」「企業訪問」の実施  ・講師派遣企業の拡大  ・あいち少年少女創意くふう展の開催  ・県内発明クラブ間の交流の推進  2019 年度  ・「出前授業」「企業訪問」の実施  ・技能五輪全国大会（愛知県開催）と関  連付けた事業プレゼンス向上  ・あいち少年少女創意くふう展の開催  2020 年度 同上</p>
<p>・「出前授業」や「企業訪問型」の職業体験が企業の地域貢献活  動として広く認知され、各企業が積極的に参画に手を挙げてい  くような、地域に根差した活動として、定着させていく。  出前授業受講者 2,000 名/年  企業訪問職業体験 120 名/年  ・くふう展開催の周知を強化し、来場者の増加を図る。</p>	

## Ⅱ 都市力一躍動し愛される名古屋へ

### 1. まちづくりと、商業・サービス業振興、観光・誘客推進

【主要事業・テーマ】

- ✓ 「躍動し愛されるナゴヤ」に向けた取り組み
- ✓ 地域と一体となった商業・サービス業の振興
- ✓ 東京オリンピック・パラリンピックの一体盛り上げの活動

事業・テーマ	スケジュール
主な事業メニュー	
3年後の到達目標	
<p>(1) 「躍動し愛されるナゴヤ」に向けた取り組み</p> <p>リニア中央新幹線が先行開業する 2027 年までの今後 10 年の間に、ナゴヤが躍動・発展するための『都市のあり方』を検討し、内外から愛される魅力を作り上げていくため、『躍動し愛されるナゴヤ研究会』報告書の内容を踏まえ、以下のような内容を含めて、総合的な取り組みを推進する。</p>	
<p>①名古屋駅・伏見・栄の一体的発展に向けたまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・名古屋駅スーパーターミナル化の推進</li> <li>・白川公園の活用等「伏見地区まちづくりビジョン」の具体化推進</li> <li>・久屋大通公園を始め栄地区の特色を活かした再開発推進</li> <li>・名古屋の将来発展の中核となる東西軸の魅力あるまちづくりへの取り組みを進める。</li> </ul>	<p>2018年度 ・「躍動し愛されるナゴヤ研究会」報告書の内容を踏まえた取り組み推進</p> <p>2019年度 同上</p> <p>2020年度 同上</p>
<p>②都心の新たな賑わいへのエリアプロモーション</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・回遊ルートの整備</li> <li>・パーソナルモビリティやシェアサイクル等の支援</li> <li>・まちづくりと一体での賑わい創出へのエリアプロモーション活動を展開する。</li> </ul>	<p>2018年度 ・「躍動し愛されるナゴヤ研究会」報告書の内容を踏まえた取り組み推進</p> <p>2019年度 同上</p> <p>2020年度 同上</p>
<p>③観光・誘客への取り組み</p> <p>ア. 着地型観光商品「大ナゴヤツアー（仮称）」名古屋らしさを体感できる着地型観光商品の造成</p> <p>イ. 匠土産プロジェクト</p>	<p>2018年度 ・民間事業者と連携した着地型観光商品の造成（毎年規模を拡大）</p> <p>・モノ＋シリアプロジェクト（産業観光受入先施設の拡充）の推進</p> <p>・進行中「匠土産」案件の販売開始</p>

<p>モノづくり技術を活かした土産品開発・販売支援 ウ. AMIC（産業観光推進懇談会） 文化観光委員会、産業観光施設、行政・観光団体で懇親会を開催。テーマを設け研修会を実施 エ. SNS を通じた産業観光の魅力発信</p>	<p>2019年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「産業観光ナビ」HP リニューアル</li> <li>・Instagram のイベント計画実施</li> <li>・新たな「匠土産」アイテム開発</li> <li>・「産業観光ナビ」の新たなモデルコース策定、ナビで発信</li> </ul>
<p>・当地域の観光魅力を発信し、事業所等における観光振興の機運の醸成、市民への理解を高めることによるシビックプライドの向上を図る</p> <p>・着地型観光商品企画 10 コース/年</p> <p>・匠土産アイテム数 20 点</p>	<p>2020年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・AMIC 全加盟館合同イベント 実施</li> <li>・20 アイテムの匠土産開発</li> <li>・AMIC 全加盟館合同イベント 実施</li> </ul>
<p>(2) 地域と一体となった商業・サービス業の振興</p>	<p>2018年度 HP リニューアル等の実施 名古屋市、商店街との連携強化</p>
<p>①な・ご・や商業フェスタ ②プレミアム商品券事業 ③5 支部の地域連携事業</p>	<p>2019年度 若年層向け事業の実施</p>
<p>・商業フェスタについては、新たな部門の新設、HP の機能追加等により若年層への PR を強化し、市内全域での盛り上げを強化する。</p> <p>・支部については、地域に密着した諸事業を通じて、活性化を図る。</p>	<p>2020年度 事業者、商店街等へのパフォーマー派遣事業の実施</p>
<p>(3) 東京オリンピック・パラリンピックの一体盛り上げの活動</p>	<p>2018年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・産業観光ツアーの実施</li> <li>・地域内での催事に絡めた先端技術イベント開催</li> <li>・「出前授業」「企業訪問」の実施</li> </ul>
<p>オリパラを機に、当地域が世界に誇る「モノづくり」を内外に改めて発信していくため、諸事業を展開</p> <p>・モノ+(プラス)プロジェクトの推進</p> <p>当地の強みである産業のちからを活用した魅力づくりと発信</p> <p>① 「モノ+シリ」プロジェクト 産業観光ツアーの実施、工場見学受入企業の掘り起こし</p> <p>② 「モノ+スゴ」プロジェクト 先端技術・製品を活用した街なか展開事業の実施</p> <p>③ 「モノ+フェス」プロジェクト 東京オリンピック・パラリンピック競技大会にちなんだ企画展の開催</p> <p>④ 「モノ+ゴコロ」プロジェクト 「障害者スポーツ」普及・啓発、行政等による「心のバリアフリー」普及啓発事業への協力・参画</p>	<p>2019年度 同上</p>
<p>・参加企業の地域貢献活動として広く認知され、地域に根差した活動として定着を図る。</p>	<p>2020年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・産業観光ツアーの実施</li> </ul>

「モノ+シリ」PJ	ツアー催行	3回/年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域内での催事に絡めた先端技術イベント開催</li> <li>・「出前授業」「企業訪問」の実施</li> <li>・プロジェクト展示会開催</li> </ul>
「モノ+スゴ」PJ	体験者 延べ	1,000人	
「モノ+フェス」PJ	プロジェクト展示会開催		
「モノ+ゴコロ」PJ	障害者スポーツ体験	3～5回	

## 2. インフラ整備

### 【主要事業・テーマ】

- ✓ リニア開業効果を域内にあまねく浸透し最大化するインフラ整備

事業・テーマ	スケジュール	
主な事業メニュー		
3年後の到達目標		
①空港：中部国際空港の利用促進・二本目滑走路の早期整備	2018年度	・既存事業の評価、整理、改善
・中部国際空港に二本目の滑走路が早期に必要なとの認識のもと、「中部国際空港利用促進協議会」の活動を通じて、更なる需要の取り込みと掘り起こしに努める。	2019年度	同上
・中部国際空港の需要目標（2019年度）旅客数15百万人、国際貨物取扱数量24万トンを超え数字を目指す。	2020年度	同上
②港湾：名古屋港の利用促進及び港湾機能強化	2018年度	・関係機関、団体とともに要望活動を実施
ア. 地元関係機関と連携し、名古屋港の整備拡充・機能強化に向けた要望活動の実施	2019年度	同上
イ. 海外ポートセールス、利用者懇談会、名古屋港・中部国際空港説明会等、利用促進事業の実施		
・「名古屋港ふ頭再編改良事業」、「飛島ふ頭地区ふ頭再編改良事業」の着実な整備の推進	2020年度	同上
・総取扱貨物量、貿易額黒字額日本一		
・本所提言「名古屋港ポートアイランド将来利用」を受け、ポートアイランドの将来利用に関して国や名古屋港管理組合等の関係者による検討・協議が一定の前進をみる。		
③道路：高速道路等交通ネットワークの整備促進	2018年度	・関係機関、団体とともに要望活動を実施
・地元関係機関と連携し、国際競争力の強化に繋がる広域幹		



線道路網の整備促進について、要望活動を実施する。	2019年度 同上
・現在要望している「西知多道路」と「名岐道路」の着実な整備推進、及び「名古屋環状2号線西南部・南部」の完成。	2020年度 同上
<b>④災害に対する強靱化</b>	2018年度
ア. 名商安否確認アプリケーションの利用促進 イ. 防災人材育成研修「防災・減災カレッジ」及び「あいちBCP講習会」を他団体と連携し実施	・アプリケーションの情宣 ・防災・減災カレッジ、BCP講習会の開催
・アプリケーション利用企業 40社	2019年度 同上
・中小・小規模事業所での防災に関する人材育成の促進、BCM、BCPの重要性を幅広く認知。	2020年度 同上

### 3. 世界交流の拡充と深化

【主要事業・テーマ】

- ✓ 多様な目的の海外ミッション派遣
- ✓ 外国公館支援協議会等諸団体の活動
- ✓ 海外ビジネス支援

事業・テーマ	スケジュール
主な事業メニュー	
3年後の到達目標	
<b>(1) 多様な目的の海外ミッション派遣</b>	2018年度
①会頭ミッション 商業・サービス業の集積と都市デザイン、次世代モノづくり産業の育成に資する時流に適した訪問先を選定し、ミッションを派遣する。	・各種海外ミッションの継続的な派遣 2019年度 同上
②中小企業投資環境調査ミッションの派遣 中小企業を中心とした海外展開を支援するための視察を実施する。	2020年度 同上
③航空機産業ミッション MROビジネスのネットワーク構築支援	
・会員企業の関心の高い地域、テーマなどをカバーした訪問先の選定を行い事業を実施。	
<b>(2) 外国公館支援協議会等諸団体の活動</b>	2018年度
・産業・文化視察会、交流会、アセアン各国大使館の訪問・情報収集等	・外国公館支援協議会を通じた支援事業・要望活動の実施

愛知県、名古屋市、名古屋港管理組合、本所で構成する外国公館支援協議会を通じて支援事業・要望活動を実施する。	2019年度 同上
・外国公館支援協議会として上記事業を継続的に実施する。	2020年度 同上
<b>(3) 海外ビジネス支援</b>	2018年度 ・海外取引入門セミナー
①食品分野海外取引支援	・国内展示会視察ツアー
②貿易証明業務の円滑な運営	・海外バイヤーとの商談 2019年度 ・海外市場でのテストマーケティング
・海外取引入門セミナー 3回、受講者100名/年 ・海外市場でのテストマーケティング 累計3カ国、15件 ・海外バイヤーとの商談 累計バイヤー10社、商談件数100件 ・一般原産地証明の電子発給に向けた体制の整備	2020年度 同上

### Ⅲ 未来産業力～次世代産業発展・イノベーションの推進

#### 1. 次世代産業の育成

【主要事業・テーマ】

- ✓ 航空宇宙産業
- ✓ 医療機器産業

事業・テーマ	スケジュール
主な事業メニュー	
3年後の到達目標	
(1) 航空宇宙産業	
①新規参入、販路開拓支援の拡充・強化	2018年度 ・航空機エンジン部品参入支援プログラムの実施 ・JA2018 活動支援
ア. 航空機エンジン部品参入支援プログラム 専門家と連携し、座学、現場視察等の総合的な参入講座を開設。	2019年度 ・MRJサプライヤーの協力によるビジネスミーティングの開催
イ. Nagoya Aerospace Presentation in JA2018 (仮称) 東京開催の国際航空宇宙展 (JA2018) において、海外企業、支援機関とのビジネスミーティングを設定。事業前の準備段階から活動支援をする。	2020年度 同上
・エンジン部品ビジネスにおける参入支援 5社	
②エアロマート名古屋の開催	2018年度 開催準備
・エアロマート名古屋 2019 の開催 BCI エアロスペースと共催で航空宇宙関連の国際ビジネス商談会であるエアロマートを開催する。	2019年度 ・エアロマート名古屋 2019 開催
・エアロマート名古屋の継続開催 2017年度と同等の参加企業・商談件数を指す。	2020年度
③MRO (maintenance,repair&overhaul) ビジネス参入支援	2018年度 ・MRO ビジネス研究会の具体的な諸活動の展開
・航空機 MRO ビジネス研究会 (仮称) 海外 MRO に関するセミナーの実施や他地域で開催 (含む海外) されているエアロマートに参加し、知見を深め、ビジネスチャンスを探る	2019年度 同上
・MRO ビジネスのポテンシャルの整理と参入支援を行っていく	2020年度 同上

(2) 医療機器産業	
① 医工連携によるビジネス展開支援	2018年度 ・具体的な開発・改良案件の推進
ア. メディカル・デバイス産業振興協議会での活動を通じて、産学官連携を進める。	2019年度 同上 2020年度 同上
イ. 国内の展示会への団体出展、医療現場でのニーズ発表会、国内外視察の実施、サポートデスクを通じた個別相談。	
・会員ニーズである医療機器産業との取引拡大をサポートする。 ・開発・改良案件、試作案件 目標 15件/累計	
② 「メディカルメッセ」の開催	2018年度 ・メディカルメッセ in 医学会総会の開催準備
・2019年春に開催される「第30回日本医学会総会2019中部」での展示商談会「メディカルメッセ」の開催を目指す。	2019年度 ・メディカルメッセ in 医学会総会の開催
・医学会総会と合わせて開催し、医学関係者や医療メーカーとの接点づくりを実現し、中部地域の医療機器産業振興に関わるプラットフォームとしての役割を果たしていくことを目指す。	2020年度 ・その他関係機関との連携による「メディカルメッセ」の内容充実

## 2. イノベーションの促進

### 【主要事業】

- ✓ デジタル革命等への対応
- ✓ 知財戦略の推進
- ✓ 環境対策の推進・支援

事業・テーマ	スケジュール
主な事業メニュー	
3年後の到達目標	
(1) デジタル革命等への対応 デジタル革命など「百年に一度の大変革」は、行方の予測が困難で急速な潮流であり、これに対して、特に中小企業は十分な情報や備えを持たない。また既存産業の枠組みを超えた動きであり、オープンなイノベーションやベンチャー・スタートアップが一層重要性を増す。これら大変革とイノベーションに遅れることなく、むしろ当地がリードできるようになっていくことを目指して、中小企業等への情報提供、中小製造業へのロボット等の活用支援、産学官連携等を通じた社会的ネットワークの形成、ベンチャー・スタートアップの環境整備等の取り組みを進める。	

<p>①AI・IoT等最先端技術の情報収集・提供・活用支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中小企業へのAI・IoTに関する啓発・情報提供・活動支援・コンサル事業</li> <li>ア. 第2回IoTワールドの開催</li> <li>イ. IoT利活用工場視察会の実施</li> <li>ウ. 「スマートものづくり応援隊」(経産省)補助事業によるIT指導者育成事業</li> <li>エ. AI活用塾の開催</li> </ul> <p>・IoTを活用して経営を高度化する企業に施策を活用しつつ支援していく。</p> <p>支援件数(下記事業と合算) 累計 30件</p>	<p>2018年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワンストップ情報提供事業「IoTワールドの開催」</li> <li>・スマートものづくり応援隊を活用したコンサル事業の展開</li> </ul> <p>2019年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・使えるツールの登場等に対応した情報提供・啓発</li> </ul> <p>2020年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・データ通信速度の向上等に対応するツールの情報提供・啓発</li> </ul>
<p>②ロボット活用支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ロボット導入促進に寄与する人材育成事業「スマートものづくり応援隊」(経産省)補助事業への応募を視野に、事業検討を図る。</li> <li>・上記応援隊として育成された人材を活用した導入支援を行っていく。</li> </ul>	<p>2018年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スマートものづくり応援隊を活用したコンサル事業の展開</li> </ul> <p>2019年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上記応援隊として育成された人材を活用した導入支援</li> </ul> <p>2020年度</p> <p>同上</p>
<p>③産学官連携・ベンチャー・スタートアップの促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ア. 産学連携モノづくり商談会の開催 「中部地区 医療・バイオシーズ系発表会」と連携し、事前調整型の商談会を開催する。</li> <li>イ. オープンイノベーションセミナー 大学の研究施設の見学、シーズ発表会の開催</li> <li>ウ. (仮称)「名古屋 Connect!」の開催 大企業・研究開発型ベンチャー・VC等が集まり、オープンイノベーションを推進することを目的としたイベントの開催を検討する。</li> </ul> <p>・商談成果の継続フォローを実施し、大学との共同研究・共同開発等を3件組成する。</p> <p>・大企業・ベンチャー・VC等によるベンチャービジネスコミュニティを形成していく。</p>	<p>2018年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・産学連携モノづくり商談会の開催</li> <li>・(仮称)「名古屋 Connect!」プレイベントの検討・準備</li> </ul> <p>2019年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前年度の実施成果を踏まえた連携のあり方の実現</li> <li>・(仮称)「名古屋 Connect!」開催</li> </ul> <p>2020年度</p> <p>同上</p>
<p>(2) 知財戦略の推進</p> <p>①愛知県知財総合支援相談窓口を通じ、中小企業</p>	<p>2018年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・愛知県知財総合支援窓口の運営</li> <li>・知財ビジネス交流会の開催</li> <li>・ライセンス商談会の開催。ライセンス</li> </ul>

<p>の知財活動をアイデア段階から事業展開までワンストップで解決する相談窓口の運営</p> <p>②大企業が提供する知財を活用した製品開発支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 知財活用ビジネス交流会</li> <li>・ 開放特許マッチング事業</li> <li>・ 名商ライセンス商談会の実施</li> </ul>	<p>提供企業、参加企業の拡大</p> <p>2019年度 同上</p> <p>2020年度 同上</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 知財窓口相談件数 <span style="float: right;">3,800 件/年</span></li> <li style="padding-left: 20px;">うち専門家活用件数 <span style="float: right;">450 件/年</span></li> <li style="padding-left: 20px;">うち関係機関連携支援数 <span style="float: right;">400 件/年</span></li> <li>・ 開放特許マッチング成約目標件数 <span style="float: right;">10 件/累計</span></li> <li style="padding-left: 20px;">ライセンス商談会での成約目標 <span style="float: right;">15 件/年</span></li> </ul>	
<p>(3) 環境対策の推進</p>	<p>2018年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 次期環境行動計画の策定</li> <li>・ SDGs普及促進のためのセミナーを開催</li> <li>・ 名商CWPエコ女WGによる環境イベントの実施</li> </ul>
<p>① 環境・エネルギー関連ビジネスの振興</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 再生可能エネルギー等を活用した地域創生の取り組みや環境分野におけるビジネス展開事例の共有化を図る。</li> <li>・ 環境技術の紹介等を通じて、環境ビジネスにおけるマッチング機会を創出する。</li> </ul> <p>② SDGs 普及促進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境に関する全世界共通の目標「SDGs」について、認知度アップに向けた活動を進める。</li> </ul> <p>③ 名商ecoクラブの運営</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ビジネスチャンスの拡大につながる会員交流事業やテーマ別活動等を展開する。</li> </ul>	<p>2019年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境事業に関する事例紹介セミナーを開催</li> </ul> <p>2020年度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 受注獲得に向けたマッチングイベント、セミナーを開催</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各種交流会、商談会等を通じて、環境分野におけるビジネスを支援していく。</li> </ul> <p>名商ecoクラブ会員 <span style="float: right;">300 名</span></p> <p>受注支援活動マッチング件数 <span style="float: right;">5 件</span></p>	



発行日 2018 (平成 30) 年 2 月

発行 名古屋商工会議所

〒460-8422 名古屋市中区栄 2-10-19

電話 052 - 223 - 5715

URL <http://www.nagoya-cci.or.jp>

